

## ( 5 ) 学校施設の整備等について

### 想定課題

国会等の移転による人口増加に伴い、多くの児童・生徒の転入が見込まれるが、学校施設の整備等についてどのように考えるべきか。

#### 対応方向

国会等移転審議会の試算によれば、国会等の移転に伴う移転人口は、国会都市が整備される第一段階で10万人、さらに数十年をかけて約56万人と試算されていますが、今後の行政改革や地方分権の進展を見込むと、その半分程度の30万人とも言われています。

国会等の移転は、広域的かつ長期的なプロジェクトであり、これに伴い整備される新しい都市は、数十年をかけて段階的にクラスター状に整備されていくものです。

このため、これらのことを考慮するとともに、児童生徒数の動向等も十分に念頭に置きながら、移転決定後、長期的な観点に立った児童生徒の受入れ体制を早期に検討する必要があります。

また、国会等の移転に伴い、国際機関や学術文化研究機関等も設置されることから、那須地域の豊かな自然環境と併せて、これらの新たな要素を生かした個性豊かな学校づくりや特色ある教育の展開が可能になると考えられます。